

## 集会宣言文（案）

球磨川流域に甚大な被害をもたらした2020年7月の豪雨から、はや2年余が過ぎようとしています。

2008年に「ダムによらない治水対策を極限まで追求する」としていた蒲島熊本県知事は、豪雨災害の実態や原因についての検証もしないまま、2020年11月に「国に流水型ダム建設を求める」として自らの言明を投げ捨ててしまいました。

そして、国土交通省と熊本県は、今年8月9日、川辺川流水型ダムを中心に据えた球磨川水系河川整備計画を正式に策定しました。

しかも、その進め方は、公聴会やパブリックコメントで寄せられた7割を超える反対の声を置き去りにした住民無視そのもののやり方でした。

ダム前提の治水対策では、住民の命、財産を守れないということが、2年前の豪雨災害で明らかになっています。

私たちは、このまま流水型ダムを中心にした治水計画が一方的に進められていくことを黙って見過ごすことはできません。

そもそも球磨川流域の治水対策は、そこで暮らし、川とともに生活していく、流域住民参加のもと、住民の声を十分に聴き、それを生かして行われるべきです。私たちは、大規模な環境破壊を引き起こし、日本一の清流を消滅させ、緊急放流によって命を脅かすような日本一巨大で危険な流水型ダムには反対です。

私たちは、「ダムによらない復旧・復興を求める人吉・球磨の会」を立ち上げ、以下の要求を掲げ、人吉・球磨の住民の声と力を結集し、闘っていくことを宣言します。

- 流水型ダム建設計画の中止
- ダムよらない復旧・復興
- いのち・財産を守る治水対策を最優先に
- 住民合意ですすめること

2022年9月23日

ダムによらない復旧・復興を求める人吉・球磨の会

発足のつどい参加者一同

(受付者名: )

記入日: 年 月 日

「ダムによらない復旧・復興を求める  
人吉・球磨の会(仮称)」の趣旨に賛同します。

名前 \_\_\_\_\_

〒

住所 \_\_\_\_\_

電話 \_\_\_\_\_

年代: 10代 20代  
30代 40代  
50代 60代  
70代 80代  
90代 ( )

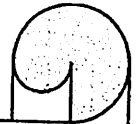
連絡方法: (いずれかに○をしてください)

メール      FAX      電話

アドレスまたは番号 \_\_\_\_\_

メッセージ欄

あなたの願い、困っていること、行政に言いたいこと、この「会」についてのご意見などよろしければご記入ください。



ご記入いただきましたら、お知り合いの方に渡していただくか、FAXか郵送で送付いただければ幸いです。何かありましたら、下記までご連絡ください。

郵送先: 〒868-0081 人吉市上林町1369-4 川上紗智子  
FAX (電話兼用) 0966-24-5338  
携帯 090-4518-4781